

平成28年度 第2回 南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議録

- 名 称 第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会
- 日 時 平成29年2月16日(木) 午前10時00分から午前11時50分
- 会 場 白根健康福祉センター3階 多目的ホール
- 出席者 推進委員 [16名]
金子勝委員, 佐久間栄子委員, 宮崎幸一委員, 長谷川次郎委員, 長崎正明委員, 小柳典子委員, 山宮勇雄委員, 間島和代委員, 田中順子委員, 登石弘淑委員, 永井正子委員, 柳博明委員, 相田信一委員, 山田ひろ子委員, 金子周永委員, 金子美和子委員 (欠席委員: 石山和美委員, 牛腸久実子委員, 大野朗子委員, 遠藤雪恵委員)
アドバイザー 土橋敏孝氏
事務局
【南区健康福祉課】中村課長, 石倉補佐, 呉井係長, 大野主幹, 篠沢主幹, 長谷川主幹, 相田係長, 吉田主幹, 草間主事
【南区社会福祉協議会】小林事務局長, 竹内補佐, 三浦主事, 田村ボランティアコーディネーター
- 報 道 なし
- 傍聴者 1名
- 次 第 1 開会
2 南区健康福祉課長あいさつ
3 議事
(1) にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金活動報告について
(2) 平成29年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取り組みについて
(3) 地区別計画の取り組み状況について各地区の推進委員から報告
(4) 土橋アドバイザーからの助言
4 閉会

午前 10 時	
事務局・石倉	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>本年度第 2 回目の南区地域福祉アクションプラン推進委員会を始めさせていただきます。</p> <p>私は進行を務めます南区健康福祉課の石倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>配付資料の確認をお願いいたします。資料 1 と資料 3 の追加資料というものが本日、配付した資料でございます。資料 2 と資料 3 は事前に送付させていただいております。不足しているものがございませんか。</p> <p>それでは、本日、庄瀬地区の牛腸委員、臼井地区の大野委員から欠席の連絡をいただいております。本日、会議内容の議事録を作成するため、録音させていただきますのでご承知おきを申し上げます。</p> <p>最初に南区の中村健康福祉課長から開会のあいさつをいたします。</p>
健康福祉課長	<p>皆さん、おはようございます。南区健康福祉課長の中村でございます。本日は、お忙しい中、南区アクションプラン推進委員会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。現在、新潟市では、健康寿命の延伸ということと、地域包括ケアが一体になって進めていかなければならないということで、まずは皆さんが健康で、健康寿命の期間を延ばすというのが最大の目的でございます。</p> <p>本日の目的は、各地区で活動していただいた内容をそれぞれ発表していただいたり、意見交換していただくことによって、それを地域に持ち帰っていただきまして、より南区の福祉に対する活動を深めていこうということを主眼に考えておりますので、本日は忌憚のないご意見、ご議論をよろしくお願いいたしますと思っております。本日は、よろしくお願いいたします。</p>
事務局・石倉	<p>申し遅れましたけれども、本日、アドバイザーとして土橋先生からもご出席をいただいております。後ほど、アドバイスをいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>これより議事に入りますので、進行を金子委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>皆様おはようございます。寒い中、お忙しい中、本日お集まりいただきまして、ありがとうございました。また、土橋先生におかれましては、お忙しい中、ありがとうございます。</p> <p>次第の議事（1）です。平成 28 年度のいがた安心ささえ愛</p>

	活動支援事業補助金の活動報告ということでございます。事務局から説明をお願いします。
事務局・吉田	<p>おはようございます。事務局の吉田でございます。よろしくお願いします。</p> <p>今年度、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金を活用して地域福祉活動を行っている四つの団体から活動の状況を報告していただきます。</p> <p>各団体の皆さんには、1団体3分程度でお願いします。</p>
金子委員長	<p>それでは、事務局から説明がありましたように、各団体の皆さんから取組み状況をお願いします。</p> <p>まず、最初にボランティアサークルふおうはあとからお願いします。</p>
ふおうはあと	<p>おはようございます。ふおうはあとの寺嶋聡美です。私たちは地域の中で豊かな関係を育み、みんな顔なじみで協力したり、認め合い、助けあったりしながら、地域が一つになればとの思いで、地域活性化ボランティアプロジェクトの活動を行ってきました。今年は最初にポイントカードを配付し、1年間の活動が一目で分かるようにしました。それでは、2016年の活動をご紹介します。5月15日、表現アートセラピーを行いました。部屋いっぱいに敷き詰められた黒い紙に子供たちが、喜び、悲しみ、怒り、楽しさをいろいろな色を使い、手や足に絵の具をつけて思いきり表現しました。</p> <p>次に5ページをご覧ください。6月26日、世代間交流事業、おじいちゃん、おばあちゃんとみんなが遊ぶ会に呼んでいただき、体験型「三匹のこぶた」をピアノの生演奏とともに行いました。小さい子から大人まで130名の方の参加がありました。</p> <p>6月29日、7月9日、子育て支援ママクラブ、白南中学校でアロマ虫よけスプレーづくりを行いました。直接、肌につくものなので、安心安全で天然の香りのという思いで企画をしました。</p> <p>7月28日、29日、南区児童館とのコラボ企画で、5,000本のカプラと遊ぼう&鬼ごっこ大会を行いました。児童館の職員の方にカプラの説明や使い方を教わり、子供たちは集中して作っていました。</p> <p>6ページの写真をご覧ください。8月18日、25日にもものづくり講座を行いました。地域の方から先生になってもらい、布ぞうりや軍手のぬいぐるみ、工作など、2日間にわたり子供たちは集中し</p>

	<p>て作品を作っていました。</p> <p>10月30日、世代間交流会として、ハッピーハロウィンのイベントを行いました。今年も仮装をしてきてくれる参加者が多く、大変盛り上がりました。約90名の参加がありました。</p> <p>2月12日には、こどもマルシェを行いました。こどもマルシェとは、子供たちが自分たちでお店を出して、物を売ってお金を得るというものです。ふおうはあとでは、豚汁を来場者に無料配布し、楽しんでいただけたと思います。そのほかに、毎月、新飯田小学校で全学年に読み聞かせを行っています。夏休みの期間中も絵本の読み聞かせやお話し会を行ってきました。来年度は、地域の方にもっと講師になっていただいたり、子供たちがより主役になれるような活動もしていきたいと考えています。課題としては、イベントで作成している大型絵本等の保管場所がないので、どこか保管できる場所を確保したいと思っています。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>質問等は四つのサークルから説明が終わった後でまとめてさせていただきます。</p> <p>次に、ボランティアサークルデザンジュをお願いしたいと思います。</p>
デザンジュ	<p>ボランティアサークルデザンジュの渡辺豊子です。平成28年度、ボランティアサークルデザンジュの活動報告をいたします。</p> <p>1年間で4回のセミナーを行い、合計で108名の地域の皆様からご参加いただきました。実施した事業内容1、6月12日(日)講師加藤昌樹先生による「～これからの未来をより良く生きる～新・覚悟の作り方セミナー」です。わくわく生きることをテーマに、自分の軸を作る、覚悟を持つとはどんなことか。本当の豊かさを手に入れる。よりよく生きるためのヒントをたくさん話していただきました。</p> <p>次に、8月28日(日)講師鈴木ゆか先生による「初心者パステル画講座」を行いました。この講座は3年間、毎年行っている人気の講座です。</p> <p>次に、11月20日(日)講師朝川兼行先生による「ミネラル栄養学セミナー」を行いました。いくつかが相互関係しながら働いているということをつかきやすく笑いながら学べ、あっという間の2時間講座でした。</p> <p>4番目に、2月11日(土)行いました、「足揉み・ヨガ講座」、</p>

	<p>講師が古川清子先生と木下絵梨先生。こちらがセルフケアを中心に行い、家族にもしてあげられる手軽さがとても好評でした。</p> <p>地域福祉に貢献できたことが今年で3年目になる活動で補助金をいただくこともでき、講師の先生方のご協力のもと、手ごろな価格で地域の皆様に講座を楽しんでいただくことができました。ほかに自主活動として、つくし園、白根健康福祉センター、社会福祉法人すずまりなどで合計年間15回のハンドマッサージの活動を行いました。</p> <p>問題点として、ハンドマッサージはクリームを使用する活動で、材料費がかかってしまうので、そういった場合、施設の理解と協力をしてもらえるように努力していきます。どうもありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>それでは、引き続きまして、白根手話サークルつばさをお願いしたいと思います。</p>
白根手話サークルつばさ	<p>皆さんおはようございます。白根手話サークルつばさの柳と申します。よろしく申し上げます。今年度で3回目の補助金になります。</p> <p>資料を説明します。まず、11ページ、8月に白根高校で学生を対象に手話教室を開きました。白根高校の教頭先生にお会いしてお話したところ、ボランティア部があるので、その部を対象に一緒にしていただきたいということで、8月の夏休み期間、3回開催いたしました。人数は学生が6名、一般6名、合わせて12名の参加でした。学生は一生懸命勉強して、手話が楽しいと言っていました。そのときたまたま新潟日報の取材がありまして載りました。</p> <p>次に12ページです。今まで手話講習会の場所を変えてきました。2年前は白根地区生活センター、昨年は大通、今年は月潟公民館で開催いたしました。10月から11月18日まで毎週金曜日7時半から月潟公民館で開催いたしました。小学生1人、一般7名、合わせて8名の参加でした。</p> <p>写真は、13ページが白根高校の様子の写真です。14ページが月潟での講習会の様子です。楽しく勉強することができました。</p> <p>今後の課題としては、手話は言語であるということなので、みんなに知っていただくために広めたい。一般の方も分かって、例えば、どこかで会ったとき、簡単なあいさつや何かしてもらえればありがたいと思って、ぜひ広めたいと思っています。今年は3</p>

	<p>年の最後の補助金でした。補助金ありがとうございました。来年度からももっと広めたいと思っています。報告を終わります。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>最後にまちづくり学校よろしくお願ひします。</p>
まちづくり学校	<p>おはようございます。NPO法人のまちづくり学校と申します。まちづくり学校は、2000年に立ち上がったものですが、まちの担い手の人材育成、市民の協働の参加やまちづくりの運営のお手伝いをさせていただいている団体です。</p> <p>「まちたんけん」というのは、実は4回目になっておりまして、今回、こちらに事業として出させていただいた経緯は、南区の観光ボランティアガイドの養成講座のお手伝いを平成27年度にさせていただいて、大凧合戦をメインで立ち上がりましたが、実際、凧合戦がない通年でボランティアの活動ができないか。白根にはもっとおもしろい魅力的なことがいっぱいあるのではないかということ学びましたので、この企画を一緒になって考えていただいた次第です。ボランティアガイドは最初は5名いたのですが、今、7名の方がしろね大凧タウンガイドという名前になって活躍を始めています。いろいろ勉強していくうちに、これが非常に誇り高いものだということに気づいて、こういったところにも目を向けていこうということでクイズ形式にしたり、カードを集めたりして楽しみながら学ぶというようなプログラムになっているところです。自分が発見したことで、やはり自分で楽しい絵で伝えていく。新聞を作ってそれを一緒におもしろがってくれる仲間を作って、一緒にこのまちで楽しんで暮らしていこうという力を小さいうちから作っていくことで地域と仲よくなってほしいというねらいがあります。ボランティアの方たちも、このガイドの活動を経験したおかげで、小学校の学習で呼ばれたときにも、自信を持って白根のまちを伝えることができるようになったと。来年度からもぜひ続けたいと思ひて、今、タウンガイドの方々と今度はどんな仕掛けをしていこうかというようなことも考えております。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>今、四つの補助金の応募団体から報告がございましたが、聞いてみたいことがございましたらお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょうか。</p> <p>それではおいでになった皆様方、ここで退場となります。ありがとうございました。</p>

	<p>議事（２）平成 29 年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取り組みについてということでございます。新年度に向けてアクションプランの取り組みについて、事務局からまずは説明をお願いします。</p>
事務局・吉田	<p>まず、説明に入る前に、資料 2 の各分科会の進行表をお配りしているのですが、その進行表を修正いたしました。小項目の取り組みを年度ごとにしまして、また評価表も同じ用紙にすることで見やすくなるように修正いたしました。平成 29 年度の取り組みにつきまして、今日、委員の皆様のご意見を伺うため、四つの分科会案を分科会の担当者からご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>それでは、各分科会の担当者から、説明をお願いします。なお、質疑につきましては、四つの分科会の担当者からの説明が終わったところで一括させていただきます。</p> <p>児童・子育て支援分科会の担当者から説明をよろしくお願いいたします。</p>
事務局・長谷川	<p>おはようございます。児童・子育て支援分科会を担当しております、児童福祉部会の長谷川と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>平成 29 年度の児童・子育て支援分科会の実施内容などについて、説明いたします。資料 2 の 1 ページ目をご覧ください。</p> <p>小項目の子育て世代が孤立しないまちづくりについてですが、平成 28 年度では、課題に対して、多様な手法による子育て情報の発信、子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくり、訪問・相談事業の強化に向けて、計画した内容を実施したことによる子育て世代が孤立しないような仲間づくりにつながっており、一定の成果が見込まれます。小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成 29 年度も平成 28 年度と同じ内容で実施していく予定です。</p> <p>3 ページをご覧ください。小項目の地域で支えるゆとりを持った子育てができるまちについてです。平成 28 年度では計画した内容を実施したことにより、地域住民全体で子供を育む意識の向上、子育て中の親子の居場所の確保、子育て支援リーダーやボランティアの育成と活動の支援につながる成果が見込まれています。小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成 29 年度も平成 28 年度と同じ内容を実施していく</p>

	<p>予定です。</p> <p>次に、4ページをご覧ください。小項目の子育て支援施設・事業の充実についてです。平成28年度では、計画した内容を実施し、子供に関する悩みについてのアドバイスや子供が安心して遊べる環境の整備、子育て支援施設や事業の内容の周知に努めたことで一定の成果が見られております。小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成29年度も平成28年度と同じ内容で実施しているものです。簡単ですが、児童・子育て支援の分科会について終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>それでは、今、児童・子育て支援分科会担当から報告がございました。引き続き、障がい福祉分科会の担当者からお願いいたします。</p>
事務局・呉井	<p>障がい福祉分科会担当の障がい福祉係の呉井と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>平成29年度の障がい福祉分科会の実施内容について説明いたします。6ページをご覧ください。</p> <p>小項目の福祉サービス利用の相談体制充実です。平成28年度では、基幹相談支援センター秋葉の周知を図るため、区だより、社会福祉協議会だよりに掲載したことに加え、新たに民生委員を対象にした研修会を開催しました。相談を受けたらどこにつないだらいいのかなどの相談窓口やサービスの周知の成果を図りました。小項目全体では、実施内容や年度目標数値など修正する必要がないことから、平成29年度も平成28年度と同じ内容に実施していく予定です。</p> <p>続きまして、7ページ、小項目の障がいのある人と地域が交流できるまちについてです。平成28年度では、計画した内容で実施する予定であり、地域の人たちへの障がいに対する理解と、地域の受け皿づくりのため、地域の行事に積極的に参加できるよう呼びかけていきます。小項目全体では、実施内容や年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成29年度も平成28年度と同じ内容で実施をしていく予定です。</p> <p>続きまして、8ページ、小項目の自立支援体制の充実についてです。平成28年度では記載のとおり、計画した内容で実施することにより、地域の課題の解決に向けて話し合える環境の整備の充実という課題に向け、生活課題の早期支援に関係機関と情報共有を</p>

	<p>進めてまいりました。実施内容や年度目標数値などを修正する必要のないことから、平成29年度も平成28年度と同じ内容で実施していく予定です。</p> <p>続きまして、9ページ、小項目のわかりやすい福祉情報の提供についてです。障がいのある人が安心して外出する、バリアフリー情報が不足しているという課題に対して、平成28年度では福祉新聞の発行についての検討が取組み内容です。福祉新聞の作成については、予算や作成者など課題も多いため、平成29年度も平成28年度と同じく引き続き検討を行い、同じ内容で実施していく予定です。</p> <p>以上、障がい福祉分科会の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
金子委員長	次に、高齢者福祉・介護支援分科会お願いいたします。
事務局・篠沢	<p>皆さんこんにちは。健康福祉課高齢介護係の篠沢と申します。皆様にはいつもお世話になっております。私からは、高齢者福祉介護者支援についてご説明いたします。資料2の10ページをご覧ください。</p> <p>目標である大項目、高齢者が安心して暮らせるまちについて、10ページから12ページまで三つの小項目に分けてまとめてあります。おおむね今年度を継承した計画となっております。まず、小項目、高齢者・介護者を支えあうまちづくりをご覧ください。平成28年度はゆるやかな見守りを行う取組み支援として、地域からの要望により、見守り活動実施検討支援や地域の集いの支援などを行いました。また、支え合いのしくみづくり会議の構成員や介護事業所の専門職の方々向けに、それぞれの役割や地域で足りないサービスを創るための研修を行い、少しずつ互助による助け合いの意識が醸成されつつあります。互助による福祉活動を行おうとするときに、いつも個人情報の問題視されますので、来年度は区民の方向けに個人情報についての研修会を行う予定としております。また、地域包括支援センターや介護教室の周知は、行事のたびに行っておりますが、より多くの方々から参加していただけるよう、来年度も引き続き、周知を続けてまいります。さらにケア会議などを活用し、顔の見える関係、ネットワークづくりも継続して実施する予定としております。</p> <p>次に、11ページ、小項目、高齢者の健康づくり・介護予防の推進です。平成28年度からミニドック型集団健診とはかろう体重！</p>

	<p>大作戦を新たに実施したほか、ほかの取組みも計画どおりに実施して、区民の健康づくりへの関心を高めました。来年度も引き続き実施していきますが、取組み番号①地区での健康づくり講座の項目、ウォーキングのフォロー講座については、運動講座には運動をしようとする人しか集まってきませんので、より多くの方々から関心を持ってもらうために、食育講座もあわせて実施する予定とし、一部内容を見直しました。</p> <p>最後に12ページ、小項目、認知症の予防と対策です。平成28年度は認知症予防の教室を1教室20回実施しました。来年度も同様に実施する予定です。認知症サポーター養成は、申請件数が現時点で昨年度を超えて24件を受理しておりますが、今後も増加する認知症対策として、引き続き、有効な広報活動を考えていきます。また、平成27年度に立ち上げた認知症サポーターを養成するキャラバンメイトの方々の連絡会は、情報共有と活躍方法の検討を行うため、こちらも引き続き、実施していく予定です。認知症カフェは、昨年度より回数を増やし、年6回、奇数月の第4土曜日に開催しております。今後も定期的な開催と安定運営を目指し、続けていく予定としております。以上、高齢者福祉介護者支援の取組みについての説明を終わります。</p>
金子委員長	最後ですが、地域づくり分科会からお願いいたします。
事務局・田村 (社会福祉協議会)	<p>地域づくり分科会のご説明をさせていただきます。南区社会福祉協議会南区ボランティア市民活動センターの田村です。よろしくお願いいたします。地域づくり分科会は資料の13ページから説明させていただきます。</p> <p>小項目、地域のボランティア活動の場発信と活動支援です。平成28年度では、計画した内容を実施したことにより、ボランティアの育成、ボランティアの情報交換等が行われました。また、子供だけでなく、大人への福祉教育を行うことで、福祉教育の理解が深まったと考えられました。災害ボランティアの育成に関しましても、地域の方との災害ボランティアセンター設置訓練を行ったことで、周知と理解につながったと考えられます。地域づくり分科会の委員の中からボランティアルームの利用について、ボランティアが使い勝手のよい方向になるよう、行政が中心となって使い方を考えることが必要との意見をいただきましたので、今後は、健康福祉課、社会福祉協議会、健康センター、管理者の間で検討し、使用方法を工夫することにより、ボランティアルームの</p>

	<p>ボランティアの拠点化としての推進を図りたいと思います。また、災害ボランティアセンターの検討委員会を平成 28 年度は毎月 1 回とさせていただいておりましたが、2 か月に 1 回という形に平成 28 年度はしまして、サテライト候補地や災害ボランティアセンターの設置訓練の際に必要な事項を検討していきたいと思っております。平成 29 年度に新たに災害に関する事例検討の研修会を一回増やすことで、災害時に速やかに対応できるボランティアセンターを目指します。年 1 回の訓練では、災害ボランティアセンターに対するスキルアップを行い、災害ボランティアセンターの周知を図ります。小項目全体では、実施内容や年度目標数値を修正することがないことから、平成 29 年度は平成 28 年度と同じ内容で実施をしていきたいと思っております。</p> <p>続きまして、14 ページの地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援を説明させていただきます。平成 28 年度では、計画した内容を実施したことにより、サロン間の交流が行われました。これにより、サロンの問題解決などの成果が見込まれました。平成 28 年度社協だよりの紙面の減少により、社協だよりにサロンマップを掲載するという目標がありましたが、目標を達成することができず、マップを載せることができませんでした。しかし、サロンの活動の一覧は掲載することができましたので、それによって内容が分かったと思われます。平成 29 年度では、社協だよりにサロン、お茶の間情報を再び掲載することで、一人でも多くの方がサロン活動に参加できるように支援をいたします。また、助成金の相談も受けつけることでサロン支援を行ってきたいと思っております。小項目の全体では、実施内容や年度目標数を修正することがないことから、平成 29 年度は平成 28 年度と同じ内容で実施していきたいと思っております。</p>
事務局・立川	<p>総務課の立川と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>15 ページ、小項目の災害時要援護者支援体制の充実です。平成 29 年度につきましても、役員が交代しても災害時の要援護者の支援体制が円滑に取れるように、名簿の引き継ぎや要援護者の確認などを自主防災組織や自治会へお願いしていきたいと思っております。</p> <p>また、防災訓練での災害時要援護者訓練への支援や白根高校の生徒を対象としました防災ボランティア講座などの開催により、地域の助け合いの意識の向上を図っていきたくと考えておりま</p>

	<p>す。簡単ではございますが、以上となります。よろしくお願いいたしますします。</p>
金子委員長	<p>今、事務局から平成 29 年度分科会の計画について説明がございました。ほとんどの分科会では、今までどおり変更なし、今までの計画どおりというようなことでございますが、何かご意見がございましたら、遠慮なく挙手のうえ、ご質問をお願いします。この計画が平成 29 年度の事業の基本になろうと思いますが、何かご質問ございませんでしょうか。ないようでございますが、本日、ご提案申し上げました内容で平成 29 年度も事業を進めていくということでよろしいでしょうか。この計画を基にプランを進めていただけるということをお願いしたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>以上で、2 番目の議事については終了させていただきます。</p> <p>続きまして、議事（3）地区別計画の取り組み状況についてでございます。ご案内のようにこのアクションプランですが、地域福祉計画と分野別については主に区、社会福祉協議会ということでございますが、地区別計画というものが、このアクションプランの中に一緒に入っています。12 ある南区の各地区の中でそれぞれ計画したものが、49 ページにあるのですが、地区別計画について年度ごとの状況を推進委員会へ報告するとともに、報告内容を各地区へ情報提供し、さらなる計画の推進につなげるということで書いてございます。昨年はないようでしたが、今回、2 年分ということになります。各地区の取り組み状況、評価についてご報告いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。各地区代表者の方からご説明、取り組み状況等と評価をお願いしたいと思います。まず、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・竹石 （社会福祉協議会）	<p>南区社会福祉協議会でございます。いつも大変、皆さんお世話になっております。アクションプランの中で地区別計画というものが、皆さんのご協力をいただきまして取り組んでいるところでございますが、進捗状況ということで、それぞれの地区の担当の方からご説明をお願いしたいと思います。なお、本日欠席されている地区につきましては、説明を省かせていただきますので、資料をご覧になっていただきながらお願いしたいと思います。それでは、よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>今、事務局がお話ししましたように、各地区から説明をお願いします。本日、茨曾根地区、庄瀬地区、臼井地区、大郷地区の四</p>

	<p>つの地区の方が欠席ということでございますが、こちらの地区については説明を省略させていただきます。</p> <p>新飯田地区の金子委員からお願いしたいと思います。</p>
金子（勝）委員	<p>新飯田地区は 18 自治会がございまして、取組み自体がどこに問題があるのだろうかということでもいろいろ考えてみますと、自治会の会長が順番で自治会長をやるという自治会が大多数でございまして、非常に継続性がなかなか持てないという問題がございまして、そういったこともございまして、活動自体が低調に終わっているということで、問題を残していると思います。A 評価にしてあるものについては、担当する自治会が定期的にやっていますし、そのほか、できないものについても、自治協議会と私たちのほうで打ち合わせをしながら、社会福祉協議会の場でひとつ重点的にこれから取り組んでいかなければならないのだろうと思う次第でございます。ここに記載してある取組みでございますので、簡単に申し上げさせていただきました。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。質疑等については、一番最後にさせていただきます。</p> <p>茨曾根地区と庄瀬地区、それぞれ欠席でございます。続きまして、小林地区の佐久間さんからお願いいたします。</p>
佐久間委員	<p>小林地区の佐久間です。よろしくお願いたします。</p> <p>私たちは、コミュニティ協議会の活動が非常に活発なところで、この反省もコミュニティ協議会の会長、自治会長、自治協議会の会長、民生委員等でいろいろ話し合っているものですし、評価についても同じメンバーで評価いたしました。私たちのところは、先ほどお話がありましたように、高齢者、障がい、子供のつながり全員が持てるものを目標としています。今度、全部集めた広域に地域というものを私たちの地区では目標にしております。問題点と申しますと、例えば、老人クラブでは、体を動かすということが非常に盛んですけれども、趣味の分野です。文化的なもの。そういうものが少し足りないもので、そういう関係にもしたいということが目標です。</p> <p>バリアフリーについても、地域全体ではまだ固まっていない、お年寄りの方、小学校など若い人には理解されているのですけれども、それ以外の人たちには理解が足りていないということで B になりました。茶の間なのですけれども、非常に活発なところとないところと二つあります。非常に活発なところというのはリーダー</p>

	<p>一の意欲のある方がやっておられます。茶の間の補助金などを増額していただいて、意欲のある方がどんどん取り組んでいけるような茶の間の支援体制に来ていただくといいのではないかという話が出ましたので、よろしく願いいたします。ひな祭りコンサート、卓球大会、カーリング、敬老会、その他のものは非常に定着しておりますので、このまま続けていきたいと思っています。</p> <p>地域の一人ひとりが助けあって、自分は何ができるかということをお私たちは次の目標にしております。この二つのことですが、私たちは来年度からがんばっていきたいと思ひます。評価については、ここに書いてある記載のとおりですので、よろしく願いいたします。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>臼井地区、大郷地区は欠席でございます。鷺巻地区の宮崎委員よろしく願いします。</p>
宮崎委員	<p>鷺巻地区の宮崎と申します。よろしく願いします。</p> <p>鷺巻地区は、笑顔の和を広げようというスローガンで活動しております。この紙面に書いてあるとおり、評価は間違っていないかと思ひます。問題点として、引き継ぎをきちんとしてやうところが、行われなない場合が一部ではなく、非常に多かつたというのが問題になりました。なぜかという、ファイルを作つて渡して、各地区の代表に渡してはあるのですが、それがどこへいったか分からないとか、そういうことで伝わらなかつたということでした。コミュニティ協議会、鷺巻社会福祉協議会、こういう団体と連携して、すべてに確実に伝わるように今後はしていこうということでした。</p> <p>もう一点、住民にきちんとして伝える機会を作ろう。こちらは、住民総会時に連絡はするのですが、なかなか伝わらなない。回覧板等を回しますが、そちらもなかなかアクションプランについて伝わっていかない。もう少し工夫をしようということでも、ほとんど行われなかつたに近いのではないかと思ひます。</p> <p>推進目標の各項目ですが、こちらは平成27年、平成28年はこのような評価になっております。課題も見えてまいりましたので、平成29年度、地域で取り組んでいきたいと思ひます。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、根岸地区の長谷川さん、お願いいたします。</p>
長谷川委員	<p>根岸の長谷川でございます。</p>

	<p>根岸の場合は、明るくいきいきすこやか根岸もんというスローガンでやっています。このテーマを決めたときに、非常にお茶の間に対する要望がありまして、それがお茶の間を全地域に作ろうということでスタートしました。現実にも今、9か所のお茶の間ということで、全11自治会あるのですが9か所ということは、あと2自治体ということになるので、それでCという評価にして、個々にやっている9か所は、活動そのものはけっこう動いております。</p> <p>もう一つ、根岸の特長としましては、あやめ祭りを中心に動いています。あやめ祭りがだんだん大きくなってきて、今、1,500人くらいの規模で人が集まるくらいになって、あやめ祭りを中心としたいろいろな活動になっています。ここにありますように、ほかの項目は、あやめ祭りの関連で全部動いています。実際には、カーリングやゲートボールや輪投げはその中でやっていますし、そのほかに単独でやっている、カーリングは活動としても活発にということまでいかないのですが、動いているというのが現実です。今後は、お茶の間、あやめ祭りを中心とした中で、いろいろな活動を目指せていけたらということで話が出ております。現状としてはそういったところです。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次、大通地区長崎委員お願いいたします。</p>
長崎委員	<p>大通地区の長崎です。</p> <p>今回の評価はコミュニティ協議会の会長と老人クラブの会長とお茶の間の代表2人に集まっていたいて評価いたしました。スローガンは、老いも若きもスクラム組んで、住んで楽しい大通。私としてもなじみやすく、分かりやすく、いいスローガンだと感心している実態でございます。全体の評価としては、ほとんどがAまたはBであります。非常に活発な活動を展開しております。各地区と同じような感じがしますが、確認事項欄の住民にきちんと伝える機会を作ろう。これについては総会で徹底を図ることもさることながら、ほかに何かいい方法がないものか模索中というところでございます。</p> <p>災害時に対する避難体制の確立。特に避難訓練のことが話題になりまして、主に避難訓練は土曜、日曜が中心となってやっているわけですが、平日、災害はいつやってくるか分からない。時を選ばず、場所を選ばずだと思っております。そんなことから、平日にす</p>

	<p>るには、どのような人材, 要員を集めなければいけないかということで、平素から退職者で、平日でも災害のときにいざ出動できそうな人たちも、平素から把握することに努める必要があるのではないかということが今後の課題になりました。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、白根地区の小柳委員お願いいたします。</p>
小柳委員	<p>白根地区の小柳と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>私は、基本的には食生活改善推進委員ですが、この会に出席させていただいていますが、コミュニティ協議会の会長にほとんど一任して、これはどんな状態なのでしょうという形で、このように評価させていただきました。みんなにやさしいシロネもんということですが、白根小学校区で実質的には三つの地域に分かれて活動しております。評価の中で問題だったのは、防災のところ個人情報の取扱いをどうしたらいいのかなということが最初に出てくるという話を伺いました。</p> <p>1の集まる場をつくろうというところですが、地域の茶の間は現時点では11団体くらいが活動しています。各自治会に一個というまでにはいっておりません。気軽にだれでも集まれる場所づくりということですが、地域センターにおいては、団体が100くらい登録してあって、割りときちんと活動されています。それから、ここには記載されておりませんが、昨年度から一の町のほうで「ママズカフェラポール」、「心の居場所ぱるのにわ」というものが南区全体として、空き家を活用してできたということはとてもよかったなと思いますし、今年の1月に天昌堂サロンも火曜、木曜という形でオープンされましたので、これもまたこの地域としてどう活用していくのか。その辺も考えていかなければいけないのではないかと思います。空き家対策を検討するとか、共通しているものが多いのではないかと思います。来年度からしっかりと見据えて活動していかなければいけないかと思っております。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次が、味方地区の山宮委員お願いいたします。</p>
山宮委員	<p>味方地区でございます。具体的にはコミュニティ協議会から入ってもらって活動して把握をしているという状況でございます。味方の場合は、老人会が非常に活発でございますので、老人会に</p>

	<p>依存する、また地域の茶の間もけっこうございまして、どうやって従来の活動を維持するか。これが一番の課題だろうということまでやってきているわけでございます。障がい者の関係ですが、これはデイサービスセンターに障がい者の受け入れ施設等を設置していただいたという部分がありまして、その活動を社会福祉協議会が当然、中に入らなければならないですから、それに関する活動というものが例年よりもよかったということでAランクになっております。以上でございまして報告とさせていただきます。ありがとうございます。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後でございますが、月潟地区の間島委員お願いします。月潟については、今日、追加資料としてお配りしたものでございますので、こちらをご覧くださいと思います。</p>
間島委員	<p>月潟地区の間島です。よろしくお願いたします。</p> <p>月潟地区では、表に表したような結果になっております。一番達成率の悪かったセーフティスタッフの活動というものを充実させるということですが、平成27年度、平成28年度の増員ができなく、現状維持のままできています。地区全体がなかなかスタッフの維持ができなくなっているということです。地区全体としては、バス通学があったりしているので、月潟地内のほうだけはセーフティスタッフがいるのですけれども、西のほうや曲地区には、セーフティスタッフになるような人がいないので、そのセーフティスタッフを補充していきたいということです。平成27年度も平成28年度も進展がないので、Cという評価になっています。</p> <p>茶の間に関しては、8地区ありますが、その中の5地区でやっていて、3地区がまだ設けられていませんので、その3地区を何とか茶の間づくりをしていきたいということです。</p> <p>あとはA評価になっています、地区の運動会が毎年、地区の住民参加によって盛り上げてもらって、和気あいあいと運動会ができるようになっていきます。これは特色ある行事だと思っております。</p> <p>コミュニティ協議会と社会福祉協議会が連携して健康と福祉の集いを毎年開催しています。けっこうな参加人数がありまして、これはAランクです。</p> <p>もう一つは、南天の会というもので、配食サービスを老人世帯</p>

	<p>に行っています。これも一つの特徴だと思います。</p> <p>あとはこの表のような結果になっておりますので、よろしくお願いたします。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。以上、各地区からご報告がありました。何か聞いてみたいことがあれば、皆さん挙手をお願いします。いかがでしょうか。2年まとめてということではなくて、今後、毎年、1年ずつの評価ということで実施できればと考えております。ありがとうございました。これで、議事の(3)地区別計画の取り組み状況について、各地区からの報告を終わりたいと思います。</p> <p>それでは、今まで会議を進めてまいりました、平成29年度の分野別の取り組み。各地区からの状況についてご報告がございましたが、土橋先生から、ここでご助言等いただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
土橋アドバイザー	<p>いろいろお聞かせいただきまして、これは2年間、地区の活動というものが見えなかったような感じなのですが、皆さんのご発表をお聞きしながら、前に皆さんの地域におじゃまさせていただいたことも思い出しています。あそこの地域はこんな地域だったなとか思いながらお聞きしておりましたけれども、全体的に見て、皆さんが一生懸命やられているという状況があちこちに報告の中で出されてきているのでよかったなと思いますし、これからも続けていってもらいたいと思います。</p> <p>幾つか考えていきたいと思うのですが、一つは今、地域包括ケアという言葉が使われるようになっていきますので、地域包括ケアについては、新潟市でこういう紙を皆さん全戸にこれを配っているわけで、ご覧になったこともあると思うのですが、この中に書かれていますように、医療と介護の制度的な連携、サービスの連携ということが基本にありながら、それだけだと公的なサービスだけしか使えないということになりますから、それを地域の中でどのようなサービスを担っていくのかというところで生活支援と介護予防という部分をどこで担っていくのか。この辺は市町村に介護予防というのは下りてきていますから、これからどのように介護予防の取り組みをしていくのか。それから、総合支援事業というような形で、それぞれの地域で工夫して取り組んでいく。そして、まちなかで生活ができる、最後まで自分のいたい場所で生活できるというようなことを突き詰めて</p>

いきましようということなのです。ただ、地域包括ケアだけで地域が動いているわけではありませんよね。地域というのは皆さんの報告にもあったように、まちづくりというものを中心にやられているわけです。皆さんがどのようなまちに自分の地域をしようかということで、いろいろ話し合いをしながら取り組んでいるわけで、それがコミュニティ協議会を中心にというところと社会福祉協議会を中心にというところ、また地域の自治会が中心とか、それぞれ少し違ってはいらっしゃるのだろうと思うのですけれども、それぞれ目指すものは豊かな、お互いのつながりのある社会づくり、地域づくりというものを狙って考えているわけです。そのためにいろいろな行事をしていますけれども、その行事がよかった、悪かった。その評価も結局どこで評価しているのかというと、この地域や仲間のために役に立っているのだろうかというようにところで評価されているのだろうと思うのです。

もう一つ、地域の中で豊かに生活するためには、先ほど、趣味のというお話が出ましたけれども、ただ単に医療や介護サービスが整えば豊かなのかというと、そんなことはないですよ。皆さんの中には全然使っていないよという方々もたくさんいらっしゃるわけで、そういうご厄介にはなりたくないなと思っていらっしゃるかもしれない。ですから、そういうことを考えると医療や介護の連携や地域の中でのいろいろなサービスづくりだけでは、皆さん満足はされないわけで、やはり自分がそこで生活をしていて、生きていて、よかったと思えるような地域であってほしいわけです。そうすると最後のほうで出てきましたけれども、うちの地域では 100 以上の各種の団体が行動活動しているということは、趣味を含めたいろいろな組織が縦横に活動をされていて、その地域全体が豊かになっているということが、非常に大事だろうと思います。だから、老人クラブが活発だよということはいいことですし、調理クラブが活発だよということもいいたろうし、保健の活動が活発だよということもいいたろう。それぞれ特徴があっている。しかし、それと同時に、元気な人たちが元気でありつづけるための健康寿命というものがありますけれども、そういうことにかかわって、皆さんが生活をしていくということも大事ではないかと思います。

そういう意味で、今、介護予防もそうですけれども、これから先のことを考えてほしいのは、自分の地域の 5 年後、10 年後、人

口構成がどうなるのかということをし頭に置いてほしいのです。今の状況、これだけの高齢化率、少子化が進んでいる。これは5年たったらどうなるのか。今、見ていますから、こんな状態で大丈夫だよねと思っているかもしれないけれども、5年、10年先の数字を出したときに、果たして自分の地域はどのように存続しているのだろうかということをし心配しなければならない地域も出てくるのではないかと思うのです。ですから、少子高齢化がこれからますます進んでいくよというときに、ただ単に今の地域がよければいいということではなくて、先行きを考えながら進んでいくということをしぜひ皆さん、地域でおやりいただきたいと思ひます。そうしませんと、今のままでいいよと言ひていたら、いつの間にか人がいなくなつてしまつたよね。だれも手が出せなくなつてしまつたよねとなつてからではどうにもならないわけですから、今のうちから若い人たちとの交流、いろいろな趣味の活発化させることによつて住民間の連携、つながりというものを深めていくことにもなると思ひます。そういうところをし少し意識していただけるといいのではないかと思ひます。

少子高齢化というのは、日本は非常に進んでいる国ですよね。全世界でもトップを走っている国なわけし、我々には考えられないようなことが日々起きてくるわけです。昔、買ひ物難民などというのは、あまり考えなくてもよかつた。ところがよくよく考えてみると、山坂があつて、買ひ物する場所が遠くて行きはよいよいいけれども、帰りは荷物を持って帰らなければならないし。これではとてもだめだよねと。そんなことはあまり意識はしなかつたです。若い人たちが多し地区というのは。ところが今は、そうでもなくて、移動するということが非常に大きな問題です。過疎地域へ行くし私もびつくりしたのですけれども、調査をしていて、子供たちが親が自動車に乗せて移動しないと遊びができません。10キロも離れているのです。だから、小学校は一緒にいるのだけれども、帰つてきてしまつたら10キロも離れてしまうわけですから、遊びに行きたいといつても、自分の足では遠くて行けないのです。そうするとおじいちゃんかおばあちゃん、だれかが送つていつてあげなければならない。私が調査したのが10年前くらいですけれどもそういう世界になつてしまつているわけです。

ですから、そういうことがこれから起きてくる可能性があるし。もっと身近に皆さんが自分たちの地域を理解して、これから

	<p>どうしていこうかということは話し合いをさせていただかないと ならない課題だろうと思っています。ですから、このアクション プランを進めるということは、ただ単に福祉の領域の充実が図ら れるよということだけではなくて、地域づくりというものに焦点 を当てて、これからどういう地域にしていこうとするのかという こともみんな問題にしていくということは大事だろうと。先ほ ど、災害の問題が出てきましたけれども、私は東日本大震災のと きに障がいを持つ人たちの状況というものをどのようにそのとき 考えるか。そのときどうだったかということを読んだときに、 今、皆さんの地域でもぜひ考えてほしいのは、障がいを持つ人た ちを災害時にどうやって支援をするのか。先ほども出ていました けれども、要援護者の名簿が表に出てこないとしたら、地域の中 ではどういう形でその人たちを発見し、そしてその人たちの了解 を得て助けられるような支援の仕方を考えなければならない。で すから、100人いれば100通りの方法が必要になってくるかもしれ ない。そういうことを含めてきちんと考えながらやっていけたら なと思っています。</p> <p>非常に皆さんの報告を読んで、私も送られてきた資料を見なが らいいところ、悪いところをチェックしてみているのですけれど も、引き継ぎの問題とか、住民に絶対につなげられないという ところが出ているわけですが、それぞれいろいろなことをや っていらっしゃるわけですから、それはそれでこれからも深めて いただいているのだけれども、先ほど申し上げたようなところに 配慮していただきながらやっていただけると、そんなに悠長に引 き継ぎがうまくいかなかったよ、住民に知らせていないよとい うだけでは収まらないのではないかと思いますのでひとつご理解 いただけたらありがたいと思います。</p>
金子委員長	<p>先生ありがとうございました。今、土橋先生がおっしゃったこ と、アクションプランの関係、地域で実践しておりました地区別 の計画、そういうものも先生がお話しされたことと考え合わせなが らやっていければ、本当にいい地域ができてくるのではないかと 考えております。</p> <p>予定されました議事が終了いたしました。皆さん何かござい ますでしょうか。なければ、この会議を閉じさせていただいてよ ろしいですか。本日は、大変ありがとうございました。</p>
事務局・吉田	皆さん今日はありがとうございました。事務局から特に連絡事

項はございませんが、各地区の計画につきまして、年に一度の確認と評価はできるように、今一度お願いいたします。

この推進委員会は、今年度は終わりですが、来年度に入りましたら、平成 28 年度の進行状況につきまして、確認するために分科会、推進委員会を開催する予定ですので、皆様もご協力をお願いします。

以上で、今日の推進委員会を閉会させていただきます。今日は本当にありがとうございました。